<table>
<tr><td rowspan="2">科目区分</td><td rowspan="2">専門分野</td><td>科目名</td><td>診療補助技術Ⅰ(検査・治療処置)</td><td>対象学生</td><td>第１学年</td></tr>
<tr><td>単位数(時間数)</td><td>１単位（15 時間）</td><td>学　　期</td><td>第２学期</td></tr>
<tr><td>担当講師</td><td colspan="3">菅　千晶</td><td>実務経験</td><td>有</td></tr>
<tr><td>科目目標</td><td colspan="5">１．診療の補助における看護の役割を理解する。
２．検査・治療処置を受ける患者の看護を理解する。
３．診療補助技術を習得する。</td></tr>
<tr><td>授業計画</td><td colspan="3">第１回　（講義）
診察の基礎的知識・検査時の基礎的知識
１．診療における検査の位置づけ
２．検査の目的と種類
３．検査が患者に及ぼす影響
４．診察・検査における看護師の役割
第２回　検査を受ける患者の看護　（講義）
１．検体検査時の看護
1)尿検査　2)便検査　3)喀痰検査
２．生体検査時の看護
１)心電図検査　２)X 線検査　(1)X 線の性質
(2)X 線検査の種類(3)造影剤の副作用と対策
(4)被曝の軽減
３)消化管造影検査　４)CT 検査　5）MRI 検査
６)内視鏡検査　７)超音波検査
３．穿刺時における看護
１)胸腔穿刺　２)腹腔穿刺　３)腰椎穿刺
４)骨髄穿刺
第３回　医療機器を必要とする患者の看護（講義）
１．医療機器とは
２．医療機器の安全な使用(日常点検とトラブル防止)
１)医療機器使用に伴う事故とその対策(感電・安全な電源の取り方)
２)安全管理
３．医療機器を必要とする患者の看護
４．診断・観察に用いる医療機器
５．治療に用いる医療機器</td><td colspan="2">第４回　創傷管理と包帯法(講義・演習)
１．皮膚の構造と機能
２．創傷の種類と治癒過程
1）再生治療と瘢痕治癒　2）汚染創と感染創
3）創傷治癒形態　4）創傷治癒過程
３．創傷処置　（演習）
1）創洗浄と創保護
(1)創洗浄の方法と注意点(2)テープ固定法
(3)ドレッシング剤の選択
(4)包帯法・止血法
第５回 静脈血採血を受ける患者の看護（講義）
１．血液検査の目的と種類
２．採血部位の選択
３．採血の方法と注意点
４．採血に伴う合併症と対応
５．針刺し事故の予防と対処
第６回　静脈血採血①(演習)
第７回　静脈血採血②(演習)

第８回　終了試験</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="5">筆記試験（70%）、演習への参加状況（30%）で総合的に評価、技術チェック有</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="5">系統看護学講座　基礎看護学［3］基礎看護技術Ⅱ　医学書院
系統看護学講座　基礎看護学　臨床看護総論　　医学書院
看護技術プラクティス第４版　学研</td></tr>
<tr><td>講師からのメッセージ</td><td colspan="5">講義・技術演習を組み合わせて行う。
形態と機能、疾病論、機能回復論（薬物療法）の学習内容を復習し授業に臨む。
採血法の技術は、模型や注射シミュレーターを使用して、安全で正確な技術を習得する。
国家試験出題基準を確認し学習すること。</td></tr>
</table>